



青カミシ

烏山北小学校の教育目標

◎すすんで学びよく考える子ども

○豊かな心をもち仲良く助け合う子ども

○すすんで健康な体をつくる子ども

重点目標 みとめあい まなびあい そだてあい

<目指す児童像> 「かしこい子」「らしさを大事にする子」「きりつ正しい子」「たくましい子」

令和8年6月30日(火)
創立74周年 No. 4

烏山学舎 世田谷区立烏山北小学校 校長 河野 芳浩
〒157-0061 世田谷区北烏山6-3-1 TEL3300-5764 FAX3300-5785
学校HP <http://school.setagaya.ed.jp/kata/>



小さな社会の中にある 規律と自由と学び合う幸せ♪

校長 河野 芳浩

学校は、多様な背景や個性を持った子どもたちが集う「小さな社会」と言われることがあります。そんなようなドキュメンタリー映画も話題になりましたね。子どもにとって時間的にも空間的にも「宇宙」とも思えるほど大きく感じる「小さな社会」での生活は、学習も遊びもすべてが学びにみちています。

この「小さな社会」である学校で日々行われる集団活動において、私たちは「規律を守ること」の大切さを伝えています。時にそれは、子どもたちにとって窮屈に感じられる瞬間もあるかもしれません。しかし、私たちは「規律」と「個人の自由」は、決して相反するものではなく、むしろ規律があるからこそ、本当の意味で自由になれるとも考えています。

規律がもたらす最大の価値は、「安心という名の自由」にあります。例えば、「何を言っても馬鹿にされない」「理不尽に傷つけられない」という共通の決まりごとが保障されているからこそ、子どもたちは初めて、失敗を恐れずに自分の個性を表現し、のびのびと挑戦する自由を手に入れることができます。規律は、自由を縛る檻ではなく、一人一人の自由を守るための頼もしい土台なのです。

同時に、集団生活は「他者の自由との調和」を学ぶ場でもあります。自分の「好き勝手にしたい自由」だけを突き詰めると、誰かの自由を侵害してしまいます。「自分の自由と同じように、周りの友達の自由も大切にする」という相互の思いやりが、規律という形になって表れます。この調和を身につけることで、「好き勝手にしたい自由」が、時に痛みを伴いながらも学びの機会に変わり「他者と共に心地よく生きるための本物の自由」へと質的に高まっていきます。

これからの時代を生きる子どもたちに必要なのは、単にルールに盲従することではなく、「みんなの安心と自由のために、この規律をどう活かすか」を主体的に考える力です。学校では、子どもたち自身がルールの意味をよく理解し、お互いを尊重し合えるような、主体性を育む集団づくりを目指してまいります。子どもたちは、学びながら今を生きています。喜びや成功だけでなく、失敗や反発、悔しさや悲しみも繰り返しながら今を生きています。すべての時に意味があり、それは尊く、すべてが学びと成長につながるものと信じ教員一同で、子どもたちと共に歩むものでありたいと考えています。ご家庭・地域におかれましても、学校での集団活動の歩みを温かく見守り、支えていただければ幸いです。

7月17日には終業式を行い、長い夏休みに入ります。子どもたちは、「小さな社会」を飛び出して、「未来につながる大きな社会」での日々を過ごします。7月は、これまでの自分自身の生活で何ができるようになり、どんな力が付いたのか振り返りの時をもちます。できたことは自信に変え、さらにすてきな自分の姿を思いえがきながら、希望をもって1学期を終えたいと考えています。そして、「大きな社会」での夏休みの生活においても、子どもたちが「命の大切さ」と「自分を大切にするように友達(に限らず様々な人々)を大切にすること」を意識して主体的に考え行動し、楽しく充実した毎日を過ごせることを願っています。

1学期の「みとめあい まなびあい そだてあい」の学校教育活動へのご理解とご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

7、8月うまれのおともだちへ

おたんじょうびおめでとうございます。けんこうがまもられてよろこびいっぱい、にこにこえがおのたのしいまいにちがすごせますように♪